

2025-26年度クラブ会報 第28号 2026年2月4日発行

2026年1月21日(水)第2538回 例会報告

阿久津圭吾会員 職業奉仕



1月28日プログラム

東京福生ロータリークラブ・
東京福生HOPEロータリー衛星クラブ
東京武蔵村山ロータリークラブ・
東京武蔵村山イーストロータリー衛星クラブ
合同例会

2月4日プログラム

クラブ協議会

2025～26年度国際ロータリー会長テーマ
Unite for Good

一よいことのために手を取り合おう

RI会長 フランチェスコ・アレツツォ氏 (イタリア、ラグーザRO)

2025～26年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

『互いに学び行動し、ロータリーを楽しもう』

第54代会長 宮崎 正巳

・進行 新海 正人 会場運営委員長



・来客紹介 宮崎 正巳 会長



・点 鐘 宮崎 正巳 会長



○青少年交換留学生(受入)

JIM君

CHIU CHUN-HSIANG チウ・チュンシャン(台湾)

日本語学習は「難しいが楽しい」
学校で友人が増え、充実した学校生活を送っている

会長より、日本語上達への評価と励ましの言葉
青少年交換委員会よりお小遣い贈呈
(事前対応済)

・出席報告 阿久津 圭吾 会場運営委員



・斉 唱「我等の生業」

ソングリーダー：倉内 淳 会員



会 員 数	出 席 者 数	出 席 率	前々回出席率修正
29名	22名	81.48%	な し

・ニコニコBOX発表 比留間 康浩 親睦委員



 ニコニコBOX

- * 宮崎正巳会長・山田義高幹事⇒阿久津圭吾様、本日は卓話宜しくお願い致します。職業奉仕のお話楽しみにしております。
- * 荒井孝育会員⇒ミスターJIM。ウエルカムトゥムサシムラヤマロータリークラブ ミーティング。よろしくね。
- * 高橋弘貴会員⇒ジム君ようこそロータリー例会へ。これからも日本語勉強頑張ってください。

◆今回計10,000円 累計 819,000円

○紀尾井町RCより地区大会、クラブ紹介写真提出のお願い(衛星クラブも)

○2026-27年度国際ロータリー会長メッセージの件
・国際協議会において、オンラインH. ババロラ国際ロータリー会長エレクが講演を行い、クラブでの歓迎的な環境づくり、意義あるプロジェクトの実施、そして人生を変えるようなロータリーでの体験を通じて、「持続可能なインパクトを生み出そう」と呼びかけました。

ORLI卒後コース受講

・2/12(木)13:00～ オリンピックセンター

・幹事報告 山田 義高 幹事



○年会費納入のお願い

・1/29までに下期分会費納入を！！

○【2025-26年度下期】RI人頭分担金請求依頼
RC 185,484円
衛星 88,473円
計273,957円

○【2025-26年度下期】地区賦課金請求書
RC 314,700円
衛星 145,000円
計 459,700円 ㄨ切3/27

○2026年開催 【10周年記念】2015-16鈴木喬ガバナー年度 JAYと桜を観る会のご案内
(比留間孝司会員、宮崎茂夫会員、倉内淳会員)

○第4回多摩グループ連絡会のご案内
(会長・幹事、地区委員、事務局)

○＜青少年交換＞ 2/8(日)フィールドトリップのお知らせ(JIM君)ㄨ切2/1

○来週1/28福生との4クラブ合同例会
・17:00集合 17:30点鐘 石川酒造 向蔵

○地区大会2/26 13:00～ホテルニューオータニ
・案内は後日(集合12:30予定)
・昼食会11:30～オーストラリア赤坂見附店 予約

・会務報告 宮崎 正巳 会長



JIM君について

青少年交換プログラムの進捗報告

ジム君は来日後約5か月、順調に適応

ホストファミリー候補との面談実施

(台湾出身の家族で交流円滑)

台湾(屏東地区)ロータリークラブについて紹介
コミュニケーションの重要性を改めて強調

○ガバナーナイト登録状況のご報告と今後の取り扱いについて

・現在までのお申し込みいただいている分につきましては、全て受付。

今後のお申し込みは、「キャンセル待ち」での受付となります。

(ガバナーナイト申込 比留間孝司会員佐藤会員)

・卓話 阿久津 圭吾 会員

「イニシエーションスピーチ兼

職業奉仕(運送業)」

自身の生い立ちと運送業との出会い

起業から現在に至る経営の歩み

運送業界の現状と課題

人材不足

車両価格の高騰

安全対策への責任

ドライバー育成と評価の考え方

「安全」と「信頼」が最重要との強調

ロータリークラブ入会への感謝

会員からの質疑応答を交えた率直なトーク

1. 自己紹介・生い立ち

昭和44年5月13日生まれ

東京都立川市栄町出身。

父は栃木県矢板市、母は大田原市の出身で、

両親は東京で結婚。

兄・本人・弟の三人兄弟で育ち、祖母を含む六人家族の中で幼少期を過ごした。

父は自営業に従事しており、その影響から「商売をする血」が自然と自身にも流れていたのではないかと振り返る。

現在、弟も運送業に従事しており、家族ぐるみで事業に関わっている。

2. 運送業との出会い

高校卒業間近、拝島橋付近のヤマト運輸で夜間仕分けのアルバイトを経験したことが、物流業界との最初の出会いであった。

その後、日通の宅配便業務(当時のペリカン便)に携わるなど、若くして運送業の現場を経験。

当時はバブル期で収入も多く、車を新車で購入するなど、金銭感覚が大きく変わった時期でもあったと率直に語った。

3. 起業と経営の歩み

仲間と共同経営で軽貨物運送会社を立ち上げたが、経営方針の違いなどから分裂。

その後、1トントラック1台から独立し、現在の会社の基盤を築いていった。

事業拡大期には、毎年10～15台ずつ車両を増やし、売上も年々拡大。

金融機関との関係構築にも積極的に取り組み、資金調達を行いながら事業を成長させてきた。

一方で、急拡大による負担や限界も経験し、現在は無理な拡張を控え、安定経営を重視している。

4. 現在の事業内容

会社は、小型車から大型車まで幅広い車両を保有し、住宅資材、照明器具、自動車部品、飲料、電化製品など多様な貨物を扱う「総合型運送業」を展開。

取引先は40～50社に及び、リスク分散にはなる一方、従業員教育や業務品質の統一が難しいという課題も抱えている。

5. 人材問題とドライバー育成

運送業界全体の課題として、慢性的な人材不足を挙げた。

若年層の志望者が少ない

免許制度の変化により、若者がトラックに乗りにくい「きつい・危険・給料が安い」というイメージの定着の中で、評価されるドライバー像として「安全運転ができ、新しい仕事にも柔軟に対応し、会社の信用を築ける人材」を挙げた。

6. 安全への強い意識

大型車両は一步間違えれば重大事故につながるため、「死亡事故を起こしたら会社を辞める覚悟だった」と語るほど、安全に対する責任の重さを強調。車両価格の高騰(4トン車で1,000万円超、トレーラーで3,000万円規模)や安全装備の高度化についても触れ、事故を起こさない社会づくりが最重要との思いを語った。

7. ロータリークラブ入会について

入会のきっかけは、知人からの紹介。

当初は人前で話すことが苦手だったが、RCに入会したことで、多くの人と出会い、自身を表現する機会を得たことに感謝していると述べた。

8. まとめ・結び

運送業は決して楽な仕事ではなく、「正直、生まれ変わったら別の仕事を選ぶかもしれない」と本音を吐露しつつも、今は従業員と家族を守るため、責任を持って続けていく決意を語った。

最後に、

「安全・信頼・継続」こそが職業奉仕の原点であると締めくくり、卓話を終えた。

会場の反応

会員からの質問が相次ぎ、非常に活発な意見交換となった。

経営者目線・現場目線のリアルな話に共感の声多数。

会長講評にて

「非常に意義深い職業奉仕卓話」と高評価

◇ 創 立 1972年7月8日 ◇ 承 認 1972年7月20日

◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ

◎ 会 長 宮崎 正巳 ◎ 幹 事 山田 義高

○ 副会長 荒井 孝育 ○ 副幹事 前川 優大

□ クラブ会報委員長 大野正士 副委員長 坂元洋幸

委員 比留間一義、遠藤友紀雄、薄井政光、比留間勝一、倉内哲(S)

東京武蔵村山ロータリークラブ

事務局/例会場 西武信用金庫村山支店2階

〒208-0004東京都武蔵村山市本町2丁目91-1

TEL:042-520-3251/FAX:042-520-3252

Eメール:t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

●例会日:毎週水曜日 12:30~13:30